

- 50cmタイプ NDR0313、NDR0313(K)、NDR0313(S)
 80cmタイプ NDR0314、NDR0314(K)、NDR0314(S)
 150cmタイプ NDR0315、NDR0315(K)、NDR0315(S)

このたびは東芝ライティングレール®VI形 パイプ吊具をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

施工前に必ずこの施工説明書をよくお読みください。この施工説明書は必ずお客様にて保管してください。

なお電気工事士法により、この商品の取り付けには電気工事士の資格が必要です。

安全に関するご注意

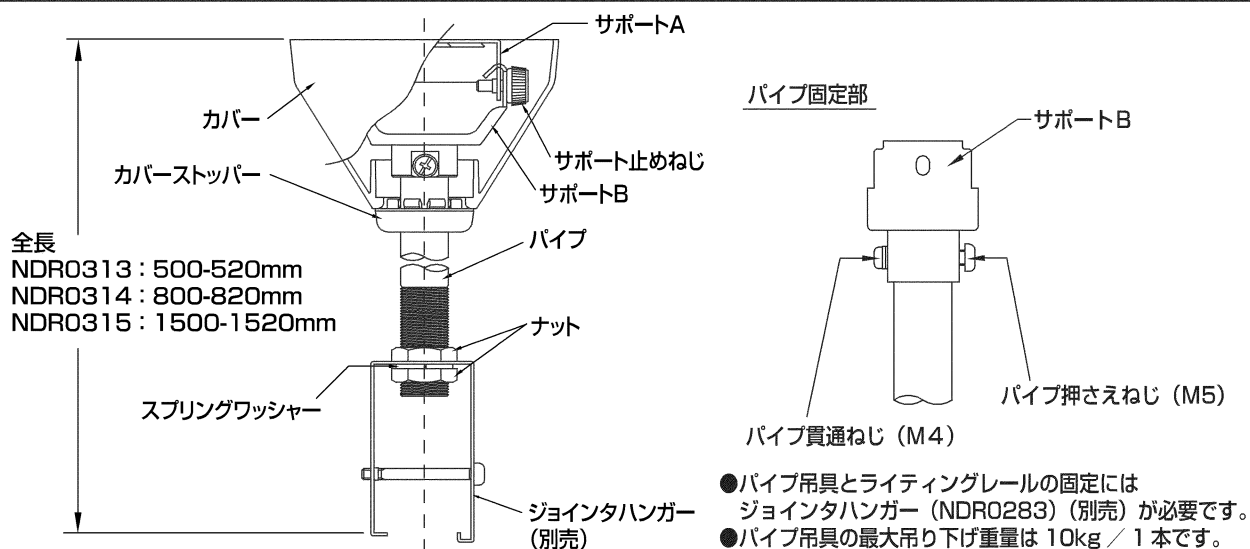
警告 発熱、焼損、火災、感電、落下の原因となります。

- パイプ吊具を取り付ける際は、吊り下げ重量(10kg/1本)に十分耐えるよう造営材取り付け部の強度を確保してください。
- 屋内専用です。周囲温度が5~35℃の範囲でご使用ください。
 エアコンの風など急激な温度変化で結露が生じる恐れのある場所、振動の多い場所、暖房器具の近く、水のかかる場所、油などの付着しやすい場所、湿気が多い場所、粉塵、硫化水素、アンモニアガスなどの腐食性ガスのある場所等には取り付けないでください。
- 長さ調整以外の商品の改造は行わないでください。

注意 落下の原因となります。

- 天井面取り付け専用器具です。斜め天井、壁面には取り付けないでください。
- パイプ吊具は、エアコンなどの吹出し口の近くに取り付け不要でください。
- レール本体1本につき、パイプ吊具は必ず2か所以上に取り付けてください。
- 本体が蛇行しないよう、パイプ吊具のセンターをそろえてください。
- 各種ねじ止めやナットの締め付けは確実に、十分に固定されていることを確認してください。

各部の名称

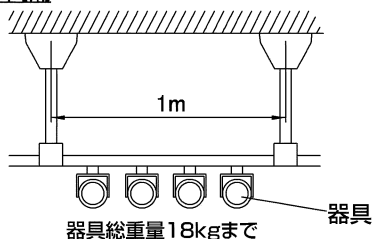


施工方法

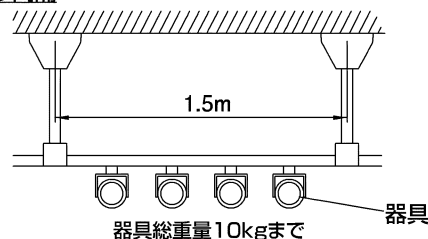
1.パイプ吊具の取り付け間隔及び器具重量

- パイプ吊具を取り付ける際は、造営材や取り付けボルトなどに確実に吊り下げ重量(10kg/1本)に耐えるよう取り付けてください。
- パイプ吊具の取り付けの標準間隔は1mとし、取り付けの器具の総重量は18kgまでとしてください。
 取り付け間隔が1mを超える場合は、最長で1.5mまでとし、取り付けの器具の総重量は10kgまでとしてください。

標準取り付け間隔



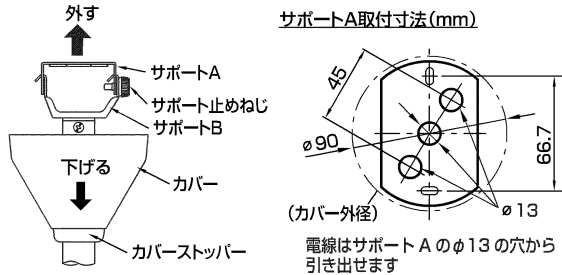
最長取り付け間隔



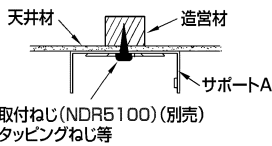
施工方法 (続き)

2. サポートAの取付方法

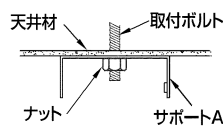
- カバーとカバーストッパーを押し下げ、サポート止めねじをゆるめて吊具本体からサポートAを外してください。
- サポートAを取付ねじ(NDR5100)(別売)またはタッピングねじ、取付ボルトなどで確実に固定してください。



■取付ねじ、タッピングねじ取り付けの場合



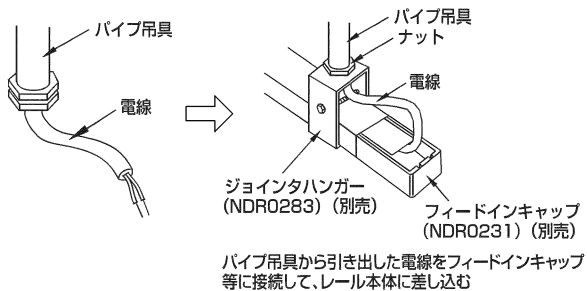
■取付ボルトなどの取り付けの場合



△注意 落下の原因となります。
取付ねじ、タッピングねじ、取付ボルトは確実に締めつけてください。

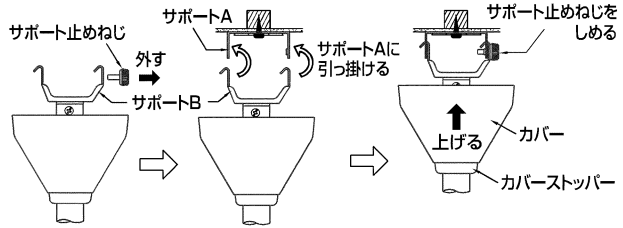
3. 電線の引き込み方法

- 天井面から必要長さの電線を引き出し、パイプ内部に通してください。(レール本体をジョイントハンガーに固定する前に電線を通してください。)
- 給電部に近いパイプ吊具で電線引き込みを行ってください。
- 電線は、負荷容量に応じてφ1.6mmあるいはφ2.0mmの単線を接続してください。
- 電線はVVFケーブルを使用してください。



4. サポートへの固定方法

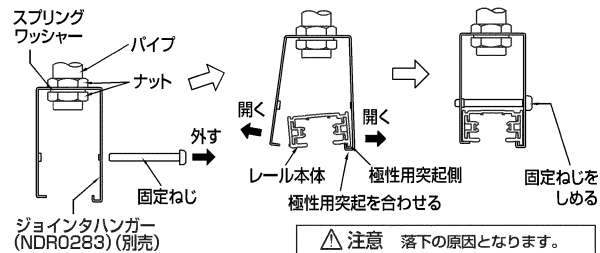
- サポートBからサポート止めねじを外し、天井面に取り付けたサポートAにサポートBを引っ掛けた後、サポート止めねじを締めつけてください。
- カバーを天井面に密着するまで押し上げ、カバーストッパーで固定してください。



△注意 落下の原因となります。
サポート止めねじは確実に締めつけてください。

5. レールの取付方法

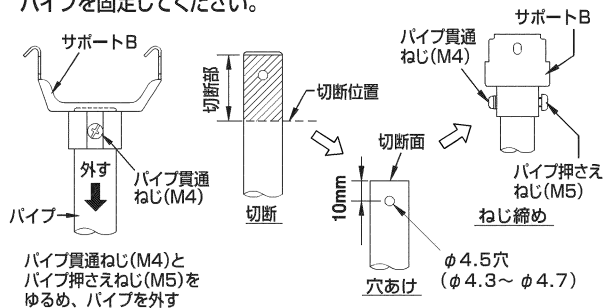
- ジョイントハンガー(NDR0283)(別売)をご用意ください。
- ナットとスプリングワッシャーで、確実にジョイントハンガーをパイプに固定してください。ナットの緩み防止のため、スプリングワッシャーはジョイントハンガーの内側に取付けてください。
- ジョイントハンガーについている固定ねじを外し、ジョイントハンガーを左右に開き、レール本体の極性用突起とジョイントハンガーの極性部を合わせて、極性用突起側からはめ込んでください。
- ジョイントハンガーでレール本体をはさみ、固定ねじでジョイントハンガーとレール本体を固定してください。



△注意 落下の原因となります。
固定ねじは確実に締めつけてください。

パイプ長さの調整方法

- パイプ貫通ねじ(M4)及びパイプ押さえねじ(M5)をゆるめ、サポートBからパイプを外して、調整する長さ(短くする長さ)をパイプのサポートB側から切断してください。
- 電線外被が傷つかないように、パイプ切断面のバリをとってください。
- 切断面から10mmの位置にφ4.5(φ4.3~φ4.7の範囲)の穴をあけてください。
- パイプのφ4.5の穴にサポートBからパイプ貫通ねじ(M4)を貫通させ、締めつけてください。その後、パイプ押さえねじ(M5)でパイプを固定してください。



△注意 落下の原因となります。
パイプ押さえねじ(M5)は確実に締めつけてください。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料: 無料)

携帯電話 046-862-2772 (通話料: 有料)

FAX 0570-000-661 (通信料: 有料)

ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan